

厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）
分担研究報告書

内科医、外科医および医療者の生涯教育に関する研究

研究分担者 小野稔 東京大学医学部 教授

研究要旨：臓器摘出術等の教育プログラム・教育資材の開発およびそれらを用いた教育を行うために、臓器摘出時のインシデント事例を収集・解析した。2024年4月から2025年3月まで28件のインシデント報告があった。移植実施への影響度を中心に事例解析を行い、再発予防策をJOT移植施設委員会で協議した。臓器摘出時におけるインシデント報告の解析は安全で確実な臓器提供を実現するために必須である。

A. 研究目的

臓器不全患者の移植医療のニーズを適切に汲み取り、臓器提供・移植のプロセスを円滑に行うためには、内科・外科領域に臓器不全や移植医療に関する教育を行うとともに、移植医療に係る専門的知識を持った医療者の参画が求められるところである。先行研究（令和4年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 厚生労働科学特別研究事業 臓器移植のサステナビリティ向上のための課題解決に向けた研究）において、脳死下・心停止後臓器提供数が漸増する中で、移植外科医の育成が急務であることが示された。当分担班では、臓器の移植を希望する患者の意思を確実に汲み取るための内科医の教育プログラムの策定や教育、および提供された臓器を確実に移植につなげるための臓器摘出術等の教育プログラム・教育資材の開発およびそれらを用いた教育を行う。

B. 研究方法

脳死臓器提供現場では、臓器提供者への礼意を最大限に払い、迅速かつ安全で確実な臓器摘出が求められている。2023年より臓器提供の機会が増加し、ベテランの外科医に加えて経験の浅い若手外科医が参加する機会が増えた。それに伴い、臓器摘出時のインシデントが起こることが想

定され、JOTとともにインシデント事例の収集・解析・再発予防に取り組む。

（倫理面への配慮）

事例解析は匿名化した状態で実施する。

C. 研究結果

2024年4月から2025年3月まで28件のインシデント報告があった。移植実施への影響度を中心に事例解析を行い、再発予防策をJOT移植施設委員会で協議した。

D. 考察

安全・確実な臓器摘出を教育していくためには、ヒアリハットを含めた臓器摘出現場でのインシデントの報告・解析・再発予防は重要である。

E. 結論

臓器摘出時におけるインシデント報告の解析は安全で確実な臓器提供を実現するために必須である。

F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし